

金沢大学環境報告書2014

【ダイジェスト版】

E 手軽に始められる環境活動を広げていこう

バリューチェーンの活動

学内で手軽にできるエコ活動

金沢大学生協の環境負荷軽減活動

学生が環境問題を自分事として捉え、環境に配慮した行動ができるようになるきっかけとして、リサイクル活動等に取り組んでいます。

水を汚さない容器。回収率は30.3%

《リサイクル弁当容器「リ・リパック」の回収推進》

食後に黒いフィルム部分をはがすと白い回収トレイになり、同じ容器として再生・再資源化されます。トレイ回収BOXで回収された容器は1枚10円分の募金として、東日本大震災復興支援募金として寄付しました。

スクールカラーにロゴをデザイン

《金沢大学オリジナルエコバックの配布》

2009年から金沢市のレジ袋無料配布中止の取組みに協力。オリジナルエコバックを「大学・社会生活論(環境論)」の授業や生協店頭、オープンキャンパスで配布。

角間キャンパスの緑化・整備推進に貢献

「金沢大学キャンパス環境整備の会」の活動

2009年、金沢大学を定年退職した教職員有志で結成。5月から10月にかけて、週に1回、キャンパスの草刈りや植樹後の若木の手入れ等を行っています。



夏草との格闘



あじさい橋付近で苗木を救出

F 「21世紀型の里山キャンパス」創出に向けて

生物多様性の保全状況

学生・教職員と地域の「里山応援団」が連携

角間里山本部の取組み

角間里山本部に、里山保全と活用をさらに発展させるため、管理、教育研究、連携の3部門を設置。「角間の里山体験実習」「里山学習プログラム」や造成された棚田や畑地等を活用した「角間里山農園」活動等に取り組んでいます。



角間里山ゼミ



里山幼児教育の研究(教育研究部門)

金沢大学環境方針

〔基本理念〕

金沢大学は、「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」の位置づけをもって、グローバル社会をリードする人材の育成と世界に通用する研究拠点の形成を目的に定め、〈先魁・共存・創造〉というコンセプトのもと、不断に改革に取り組むこととしています。

この理念と目標に基づき、教育、研究、診療、社会貢献等あらゆる大学の活動において、国立大学法人としての社会的責務を自覚し、以下の基本方針の下、人間と自然とが調和・共生する持続可能な社会の構築を目指します。

〔基本方針〕

- 1 環境に関する先進的教育を継続的に推進し、持続可能な社会の構築に貢献する人材の育成に努めます。
- 2 環境技術、環境計測、環境政策、環境医学、生物多様性など、幅広い分野において世界的な視野に立ちながら地域の特性を生かした環境に関する研究を推進します。
- 3 本学の活動が環境に及ぼす影響を調査・解析するとともに、環境負荷の低減のため、資源・エネルギーの使用量削減、温室効果ガスの削減に積極的に取り組みます。
- 4 化学物質の安全かつ適正な管理、廃棄物の適正処理と再利用・再資源化により、環境負荷の低減に努めます。
- 5 環境に関わる知的成果を含むあらゆる情報を社会に還元・公開し、環境問題に対する啓発に努めます。
- 6 本学が実施するあらゆる活動において、環境に関する法規・規制・協定等を遵守するとともに、本学の全ての構成員が協力し、継続的な環境マネジメントシステムを実施します。

2014年9月1日

金沢大学長

山崎光悦

〔金沢大学環境マネジメントシステム〕

2014年4月1日現在

全学がひとつとなって委員会やチームを組織。PDCAサイクルによる継続的改善と実行力アップに努めています。

【施設・環境委員会】

大学の方針・目標の策定、活動計画の立案など

【学生・教職員】

取り組みの実施、規制等の遵守など

【学長・役員】

全体の評価と見直し

【環境調査チーム】

取り組みの実施状況の確認、改善のための助言など



金沢大学環境報告書2014

【ダイジェスト版】

2014年10月発行

報告対象期間: 2013年度
(2013年4月~2014年3月)

発行: 金沢大学

お問合せ先: 金沢大学 施設部 施設企画課
〒920-1192 金沢市角間町(自然科学5号館1階)

TEL.076-264-6180 FAX.076-234-4030

e-mail faunei@adm.kanazawa-u.ac.jp



角間キャンパスのエゴノキ

金沢大学環境報告書2014

【ダイジェスト版】

金沢大学
環境方針を
見直しました

金沢大学は、大切な地球と暮らしを守るため、キャンパス、地域、世界をフィールドに、さまざまな活動を展開しています。学生、教職員、本学関係者がともに取り組む、金沢大学の熱いチャレンジを紹介します。



空っぽの部屋 明かり不要!
節電 ムダ減 心がけん?

省エネは
地球に対する
おもてなし



Close-Up! クローズアップ

学生が主体となり、企画や運営に関わるプロジェクトを紹介

先輩から後輩へ受け継がれる 学生のエコ活動

キャンパス周辺の美化活動

大学通学路クリーン作戦

2013年4月、学生ボランティアグループ「ラクーン」が、新入生を迎えるための「大学通学路のクリーン作戦」を企画。学内ネット「アカンサスポータル」を通じて、学生と教職員に向けて、開催案内と参加募集を行いました。2014年3月には、「大学通学路清掃活動」を企画。学内ネット



通学路クリーン作戦の参加者



ごみ拾いをする学生ボランティア

金大生限定! 毎年恒例のリサイクル市
学生リユース市

2013年、これまでの実績が評価され、金沢市から「いいね金沢環境活動賞(環境保全の部)」を受賞しました。「学生リユース市」は「Re-use」の精神から、まだ使える家電製品や生活用品を卒業生から回収し、動作確認・掃除をした上で、新入生に安価で提供するもの。物を大切にする気持ちを育て、環境意識の向上により環境負荷の少ない循環型社会の形成を目指しています。

東日本大震災・災害ボランティア活動
被災地への寄り添い活動

金沢大学ボランティアさぼーとステーションは、岩手県陸前高田市を中心に災害ボランティア活動を実施。2014年5月までに26回の現地派遣を行ってきました。参加学生数は約700名にのぼります。学生たちは、足湯や祭りを通じた交流など、被災地の方と寄り添う「こころのボランティア活動」を体験することで大きく成長します。



いいね金沢環境活動表彰式



約250点の品物が並んだ「学生リユース市」



畑の再生作業。環境整備を支援している



仮設住宅での足湯。和やかな雰囲気の中、利用者との会話が弾む

A 世界が求めるテーマや分野を追究する 環境教育と研究

学士課程から大学院課程までに応じたプログラム

「環境・ESD」教育プログラムの開設

ESDとは「持続可能な開発のための教育」。環境問題に関する見識を備えた人材を育成するため、全ての課程に応じた環境教育プログラムを構築しました。

- ◇共通教育科目
共通教育特設プログラム「環境・ESDリテラシー」(2011年度～)
- ◇専門基礎科目・専門科目
学類から選定された科目による文理融合型ESDプログラムの開設(2014年度～)
- ◇大学院科目
文・理・医3研究科におけるESD共通科目4科目の開設(2014年度～)

フィリピンの世界農業遺産(GIAHS)と交流・支援

「イフガオの棚田」の持続的発展のための取組み

能登や佐渡と連携強化。金沢大学の持つ人材育成ノウハウを移転し、同地で魅力ある環境配慮型の農業を実践していくことで、地域を持続的に発展させる若手人材を養成するプログラムをスタートしました。

大学生協の生ごみ×稲わら・もみ殻でバイオマス

高濃度混合メタン発酵法の開発

生ごみと稲わら・もみ殻の高濃度混合メタン発酵に関する実証試験で、稲わら・もみ殻の混合が生ごみの高濃度メタン発酵に有効であることが示されました。



B 地域・学校・企業・自治体と連携した活動を展開 環境コミュニケーション

「環境学コレクション」の活用拡大へ

附属図書館の取組み

2010年以降整備してきた「環境学コレクション」は、環境問題に関する学際的な資料を幅広く収集したコーナー。2014年3月現在で3,900冊。

小中学生が考える環境問題とは？

《第2回金沢大学附属図書館ECO学習コンクール》

小中学生を対象に、身近な環境問題についての調査や取組みの結果などを募集。8小学校と7中学校から計61点の応募があり、16点が入選し、表彰式が行われました。

中央図書館オープンスタジオで開催

《ECO学習コンクール「何でも相談会」》

夏休みには、コンクール応募希望者を対象に、研究テーマの決め方や調べ方、調査のコツ、まとめ方などについてアドバイスを行う相談会を実施しました。

学内外の参加者との有意義な意見交換も

《環境関連のシンポジウムの開催》

タイトルは「地球と人類のCO2物語：二酸化炭素とのつきあい方を考えてみよう」。講演後は、地球温暖化や二酸化炭素をめぐる課題についてディスカッションを実施しました。



大学生と一緒にインターネットを使って調査

金沢大学附属図書館の取組みを紹介

《いしかわ環境フェア2013への参加等》

ECOコンクールの広報を中心に、環境問題に対する取組みを紹介。また、「いしかわクールシェアスポット」として学内3つの図書館を県民に開放しました。

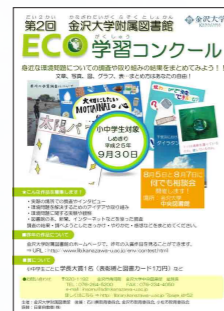
昨年比1%のエネルギー削減を目指して

「誰でも楽しくできる」省エネルギーの取組み提案の募集

省エネ活動部門の学長賞は「席は前に詰めて座りましょう」、省エネアクション標語部門の学長賞は「空っぽの部屋 明かり不要! 節電 ムダ減心がけ?」の2点。



表彰式後の記念撮影。学長大賞は「なわとびで発電できるかな? THEリベンジ」道路舗装色の变化と温度変化との関係」の2点



コンクールの募集ポスター

C 角間の里山ゾーン活用と体験型イベント 地域・社会貢献活動

職場体験を通じて環境を学ぶ2日間

「わく・ワーク」の受け入れ

金沢市立兼六中学校2年の4名が、環境保全センターで「持続可能な社会について」の講義や、「実験廃液確認収集作業」などの体験作業、角間の里山の見学をしました。



実験系廃液の確認体験 草木塔(草木の心)を見学 職場体験風景

里山ゾーンで行う実践的プログラム

「角間里山ゼミ」の開講

角間キャンパスの里山ゾーンの森づくりと人材養成が目的。先端の多彩な講義・ゼミ、フィールドワーク、ワークショップ、先進事例視察などを実施。



ゼミ受講生の発表風景

文部科学省の大学COC事業に採択

地域の感性を備えた人材を育て社会につなぐ「地(知)の拠点」事業

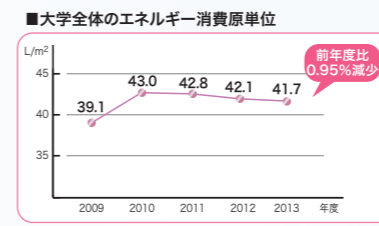
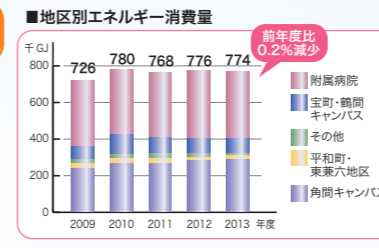
教育・研究・社会貢献の3つの柱をもとに、多様な立場の人々が社会の担い手として活躍するために重要な「知」の積極的な発信と還元を通じて、地域の感性を備えた人材育成に取り組んでいます。

D 環境負荷の少ないエコキャンパスへ! 環境への取組み

室内空調管理等に日常的に取組む

エネルギー消費/省エネルギーの取組み

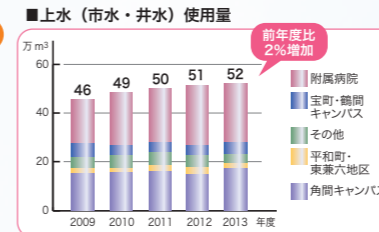
省エネ活動や省エネ対策工事等の結果、エネルギー消費量は前年度比0.2%減少。エネルギー消費原単位も約0.95%減少しながら目標の1%に届きませんでした。



日頃の節水を積み重ねて

水資源の利用状況

ここ3年程は微増傾向。角間キャンパスでは井水を散水等に使用。小便器自動水し器や手洗い場自動水し器の設置など、日頃の節水をさらに徹底していきます。



法令や法律に基づいて把握・管理

大気汚染物質の排出と抑制策

冷暖房用にA重油ボイラーやガスボイラーなどを使用した設備や機器が稼働。ばいじん等の大気排出濃度と規制値は、法令の規制値を大幅に下回っています。

ゴミの分別回収とリサイクルの徹底

廃棄物の排出抑制と再資源化

廃棄物の発生量は前年度比約5%減少。教育研究活動で発生する廃棄物(ゴミ)は分別回収を徹底。物品類はリサイクル表示板(日本語版・英語版)をウェブサイトに掲載しています。

環境物品等の調達を推進

グリーン購入の推進

7分野198品目のうち1品目を除き目標達成。未達成は紙類で、論文投稿等の印刷品質等を満たすため最低必要数量を購入したことが要因です。

法令に基づいて適正に管理

化学物質の適正管理と特定化学物質の排出・移動量

◇特定化学物質の排出・移動量(PRTR)
2013年度は、角間キャンパスで4物質、宝町・鶴間キャンパスと附属病院で1物質が報告対象。公共水域や土壌への排出や埋め立て処分はありませんでした。

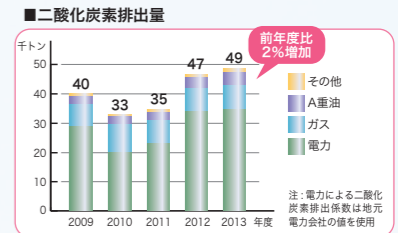
通勤・通学によるCO2排出が減少

エネルギーの消費等に伴う温室効果ガス(二酸化炭素)の排出と抑制策

CO2排出量は前年度比で約2%増加。地域電力会社の排出係数の増加が要因です。キャンパスの森林等による二酸化炭素の吸収量は排出量の1.2%程度です。

◇通勤通学時における二酸化炭素排出の現状

駐車許可証発行数はここ3年で減少傾向。試算では通勤・通学時の二酸化炭素排出量はエネルギー排出量の約12%に相当し、前年度比で154t-CO2減少したと考えられます。



定期券で利用促進につなげる

公共交通機関の利用促進

「金沢大学地区バストリガー公共交通利用促進協定」により、大学近郊区間を対象にした運賃割引制度でバスを運行しました。

自然を復元し潤いのあるキャンパスを

角間キャンパス屋外緑化アクションプラン

学生、教職員、大学生協、企業、地域住民など延べ112名が参加。10種類の苗木2,000本を植樹し、通算31,000本の植樹を達成しました。



植樹風景

2013年度の重点テーマは5つの取組み

技術支援センター環境改善への取組み

- ◇製作機器再利用化の取組み
過去に製作した機器の修理や改修で再利用を促進。2013年度は1件の再利用。
- ◇液体廃棄物削減の取組み
廃油・廃加工液の排出を削減。2013年度の廃棄量は270kgで目標達成。
- ◇電力消費削減の取組み
2013年度の達成率は95%。加工業務時の工作機械運転時間の増加が要因。
- ◇環境教育推進の取組み
学生工作実習、小中学生を対象にしたものづくり教室等を開催。283名が参加。
- ◇環境改善研究支援の取組み
環境改善を目的とした研究への支援。2013年度は3件を支援しました。
- ◇その他の取組み
緊急時対応訓練、内部監査、更新審査



ものづくり教室風景

